

第6学年外国語活動指導案

令和元年10月10日(木)

6年1組2組 指導者 後藤 麻穂

1. 単元名

Unit 3 He is famous. She is great. 人物紹介

2. 単元の目標

- ・「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付き、自分や第三者について聞いたり言ったりすることができる。
- ・語順を意識して、自分やある人について紹介したり、例を参考に紹介する文を書いたりする。
- ・他者に配慮しながら、第三者について伝え合おうとする。

3. 言語材料

○I am (Ken). I [like / play] [the violin / baseball]. I [have / want] a new [recorder / ball].

I eat (Spaghetti). I study (math). I can [swim / cook / skate / ski / sing / dance].

I can (play baseball well). Who is this? [He / She] is [famous / great].

○famous, nut, old, 身の回りの物 (racket) , jungle

[既出] he, she, 動物, 飲食物, スポーツ, 身の回りの物, 教科, 動作, 状態・気持ち

4. 単元設定の理由

(1) 児童について

これまで子どもたちは、「数の表し方」や「何が好きか」、「何が欲しいか」など英語の語句や表現を使って自分の考えや気持ちを伝える活動をしてきた。しかし、そのコミュニケーション活動の様子をよく観察すると、やり取りしたい気持ちはあるが、どう言えばよいか分からず、1文ずつ黒板やワークシートを見て話す子どもがほとんどであり、「伝えたいことを英語でやり取りできる力」に課題があることが見えてきた。1つ目の課題は、既習表現があまり定着していないことで、2つ目は、「どの既習表現なら伝えられるか」と自分で考える意識がほとんどないことである。今後は、自分が伝えたいことを既習表現の中から探し出すという意識をもたせることが必要である。

(2) 単元について

本単元は、これまでに音声で十分慣れ親しんだ文を取り上げ、どのような語順になっているのかに気付き、それを意識して話したり書いたりできるようになることがねらいである。英語の文構造を理解し、自分で語句をつなぎ合わせることができれば、子どもたちは自分の言いたいことを表現することができるようになる。また、相手の表現していることが、より理解できるようになり、より豊かにコミュニケーションが図れるようになる。そのためには、文の仕組みを理解することが欠かせない。しかし、まだ外国語活動を始めて間もないため、まず、「主語＋動詞＋目的語」という英語の文の語順に気付き、そのことを意識しながら、自分たちでこれまでに慣れ親しんできた語句や表現を使う体験が必要である。これまでに十分音声で慣れ親しんでいる文を、単語が添えられた絵カードなどで可視化し、子どもたちが語順に気付いたり、その気づきを生かして文を作ったりする活動を設定する。

(3) 指導について

第1時では、まず、「好きなみそ汁の具」を伝え合う Small Talk と、Let's Play 3 のポインティングゲームで動詞6種類の復習を兼ねた活動を行う。次に、Let's Watch and Think 2 の音声通りに絵カードを並べさせることにより、「主語+動詞+目的語」の語順に気付かせる。第2時では、「好きな日本食」を伝え合う Small Talk と、Let's Play 2 のキーワードゲーム等で「主語+動詞+目的語」の復習をして、音声を聞き取った通りに絵カードを並べさせたり、自分で文作りをさせたりする。第3時では、「好きなキャラクター」を伝え合う Small Talk の後、Let's Listen 2 の Who am I? クイズを聞き取らせ、班でカードを使った文作りゲームをさせる。第4時と第5時では、Who am I? クイズを聞き取らせ、班で班員の1人についての Who am I? クイズを作らせる。第6時で、Who am I? クイズを行う。班の1人が Who am I? クイズを出題し、正解を発表した後で答えとなる人はクラスの人からさらに質問を受け、答える。他の班員は答えとなる人の紹介 (He is cool. など1文のみ) をする。このように、友達のことをもっと詳しく知るために Who am I? クイズを行う。

本単元は、語順への気付きや「書くこと」に重点を置いている単元であるが、この単元で「話すこと [やり取り]」も丁寧に扱えば相乗効果が期待できると考える。

(4) 既習表現を生かした意図的・計画的な Small Talk について (別紙1参照)

第1時の Small Talk は、5年時の Hi, friends! 1 Lesson 6 “What do you want?” を既習表現として、「好きなみそ汁の具」を伝え合う “What do you want in the miso soup?” を行う。みそ汁は身近な話題であり、好みも様々と思われるからである。単元のゴールである「Who am I?」クイズで様々な既習の動詞が使われるため、第1時では、使用頻度の高い「want」を復習する。また、動詞を「want」に限定し、答えに集中できる表現にしている。質問者は、ペアの答えを繰り返して確かめ、「1.5 往復の対話」を行う。聞き取れなかったときは、「Pardon?」と聞き返す。

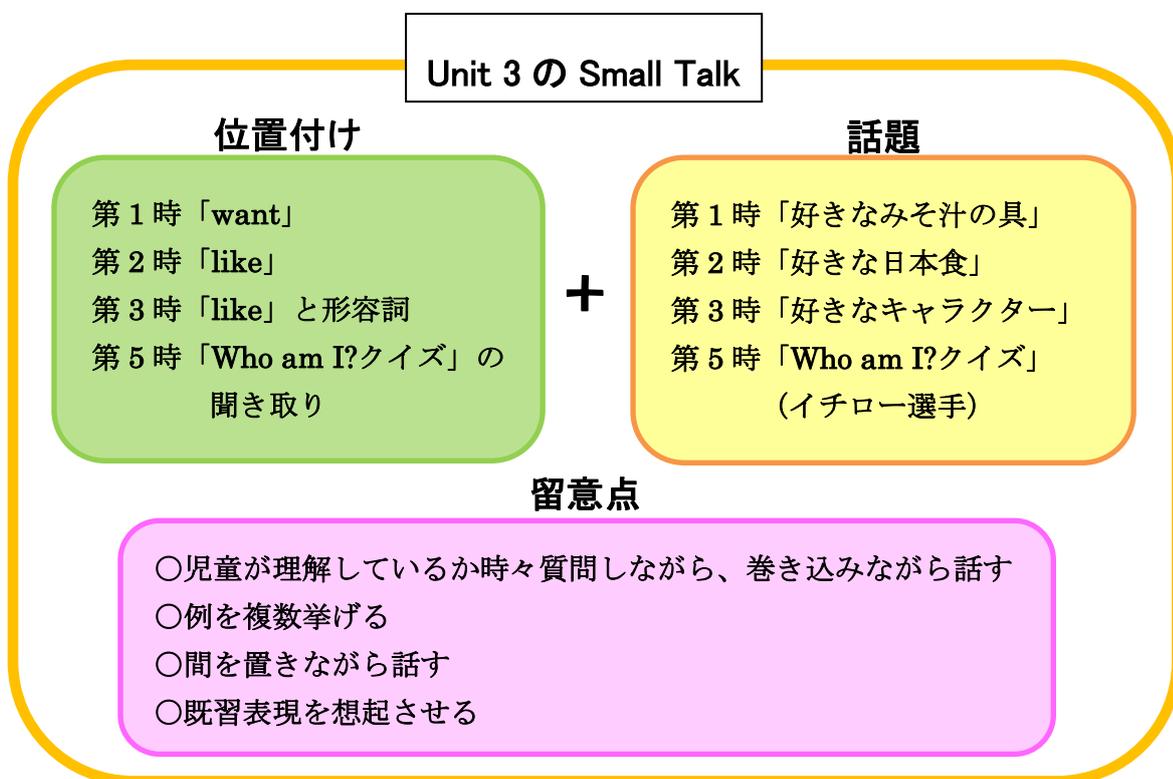
第2時の Small Talk は、5年時の Hi, friends! 1 Lesson 4 “Do you like apples?” と Lesson 5 “What color do you like?” を既習表現として、「好きな日本食」を伝え合う “What Japanese food do you like?” を行う。日本食は身近な話題であり、料理の種類が豊富だと思われるからである。「Who am I?」クイズで使える動詞「like」を復習する。また、動詞を「like」に限定し、日本食と理由に集中できる表現にしている。「like」は何度か学習しており、少し慣れていていると思われるため、第2時から、理由を尋ねる「質問」を入れ、「2 往復の対話」を行う。その際、前時で行った「繰り返し」も入れる。

第3時の Small Talk は、5年時の We Can! 1 Unit 9 “(He / She) is (kind / great / cool).” を既習表現として、「好きなキャラクターとその理由」を伝え合う “What character do you like?” を行う。キャラクターは身近な話題であり、テレビやゲーム、商品など種類が豊富だと思われるからである。「Who am I?」クイズで使える好きな理由 (形容詞) の復習をする。また、動詞を「like」に限定し、キャラクターと理由に集中できる表現にしている。理由を尋ねる「質問」を入れ、「2 往復の対話」を行う。その際、答えに対する「一言感想」 (Me, too. That's nice. Really? のうちどれか一つ) を入れる。

第5時の Small Talk は、6年時の We Can! 2 Unit 1 “I can play soccer well. I am good at running.” を既習表現として、「Who am I?」クイズを聞き、答える Small Talk を行う。「Who am I?」クイズを完成させるため、クイズ作りのモデル文として参考にさせるためである。Teacher's Talk を聞き取ったり、質問に答えたりしながら、クイズを作成する。指導者がまとまった話をするすることで、他の既習表現

を思い出すことができる。

また、Small Talk が設定されていない第 4 時と第 6 時でも、「Who am I?」クイズを聞き、答える Small Talk を行ったり、自分たちが作った「Who am I?」クイズを行ったりする。クイズを出したり、聞き取って答えたりする中で、これまでに学習した既習表現を使いながらやり取りを行っていく。



5.単元の評価規準

ア.コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ.外国語への慣れ親しみ	ウ.言語や文化に関する気づき
・他者に配慮しながら、第三者について伝え合おうとしている。	・「主語＋動詞＋目的語」の文の語順を意識して、自分や第三者について聞いたり言ったりしている。 ・例を参考にして紹介する文を書いている。	・「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付いている。

6.指導と評価の計画（全6時間）

	学習活動	活動内容	評価 (◎)・準備物
第1時	1.Small Talk 2.Let's Listen1 (p.24) 3.Let's play2 (pp.20-21) Pointing game 4. Let's Watch and Think2(p.22) 5.振り返りカード	<ul style="list-style-type: none"> ・ Small Talk で指導者の話を聞いて内容をつかみ、ペアで「好きなみそ汁の具」を伝え合う。【繰り返し】 ・ Let's Listen1(p.24) で、あるキャラクターについての Who am I? クイズ (3問) を聞き、答える。 ・ Let's play2(pp.20-21)で、動作を表す語 6種類を使い、ポインティングゲームをする。 (like / want / have / eat / play / study) <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; text-align: center;">日本語と英語を比べてみよう</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Watch and Think2(p.22)で、デジタル教材の音声を聞いて、児童用カードを点線囲みに置き、確かめる。 ・ ペアで、点線囲みにカードを自由に置き、意味が通る文をできるだけたくさん作る。 ・ どのような文ができたかを発表する。 ・ めあてや「やり取り」について振り返り、記入する。 	We Can!2 デジタル教材 ◎動作を表す語を読んで分かっている。 ◎表現について、「主語＋動詞＋目的語」の語順に気付いている。 振り返りカード
第2時	1. Small Talk 2. Let's play2 (pp.20-21) Keyword game Don janken 3. Let's Watch and Think3(p.23) 4. カードを並べて文作り 5. Sounds and Letters [j] 6. 振り返りカード	<ul style="list-style-type: none"> ・ Small Talk で指導者の話を聞いて内容をつかみ、ペアで「好きな日本食」を伝え合う。【繰り返し・質問】 ・ Let's play2 (pp.20-21)で、キーワードゲームとドンじゃんけん (陣取りゲーム) をする。 <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; text-align: center;">自分が伝えたい英語の文を作ってみよう</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Watch and Think3(p.23)で、デジタル教材の音声を聞いて点線囲みにカードを置き、聞き取った文を再現する。 ・ ペアでカードを並べてできるだけたくさんの文を作る。 ・ 作成した文のうち、1文だけ4線に書き写す。 ・ [j]で始まる単語を発表し合い、ペアでサウンド・テニスをする。 ・ めあてや「やり取り」について振り返り、記入する。 	We Can!2 デジタル教材 ◎絵カードを並べて文を作っている。 4線ワークシート ◎単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して、文を書き写している。 振り返りカード

第 3 時	<p>1. Small Talk</p> <p>2. Let's Listen2 (p.24)</p> <p>3. デスティニー ゲーム (文作りゲーム)</p> <p>4. 振り返りカード</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Small Talk で指導者の話を聞いて内容をつかみ、ペアで「好きなキャラクター」を伝え合う。【一言感想・質問】 ・ Let's Listen2(p.24)で、2人のキャラクター紹介を1問聞き取り、答えを書く。 ・ 答え合わせで、どのような紹介文があったかを発表する。 <p style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">カードを使って、デスティニーゲームをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4人グループになり、動詞カードを真ん中に伏せて重ね、名詞カードを1人4枚持つ。 ・ 1人ずつ動詞カードをめくり、その動詞に合うカードを出してIを主語にして文を言う。合うカードがない時は、文を言うだけ。4枚のカードが早くなったら勝ち。 ・ 作成した文のうち、1文だけ4線に書き写す。 ・ めあてや「やり取り」について振り返り、記入する。 	<p>We Can!2</p> <p>デジタル教材</p> <p>◎ある人物についての説明を聞いて理解し、聞き取ったことを書いている。</p> <p>◎単語と単語にスペースを置き、語順を意識して、文を書き写している。</p> <p>4線ワークシート 振り返りカード</p>
第 4 時	<p>1. Sound Tennis [j]</p> <p>2. Who am I?ク</p> <p>3. Who am I? クイズ作り</p> <p>4. 振り返りカード</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ [j]から始まる単語の復習を行い、ジェスチャーをつけて練習する。 ・ ペアでサウンド・テニスをする。 ・ Who am I?クイズを聞き取り、答えを考える。 <p style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">Who am I? クイズで、もっと友達のことを知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 班の中で1人選び、その人に好きなものや欲しいもの等インタビューする。 ・ インタビューしたことを基に、その人についてのWho am I? クイズを作る。(これまでに聞いたたり言ったりしてきた文を参考にする。) ・ 絵カードを並べ替えて、文を考えてもよい。 ・ 作ったヒント文をワークシートにメモする。 ・ めあてや班活動「Who am I?クイズ作り」について振り返り、記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ [j]から始まる単語の絵カード <p>◎ある人物についての説明を聞いて理解し、聞き取っている。</p> <p>◎ある人物について説明したり、説明を聞いて理解したりする。</p> <p>4線ワークシート 振り返りカード</p>

第5時	<p>1. Small Talk</p> <p>2. Who am I? クイズ作り</p> <p>3.書き写し</p> <p>4.振り返りカード</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Small Talk で ALT の Who am I?クイズを聞き取り、答えを考える。 <p style="text-align: center; border: 1px solid orange; padding: 5px;">Who am I? クイズを完成させよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の Who am I? クイズ作りの続きで、これまでに聞いたり言ったりしてきた文を参考に班の 1 人について Who am I? クイズを完成させる。(ヒント文の修正・追加があれば行い、紹介文を加える。) ・ クイズができたら班で役割を決めて言う練習をする。ALT に聞いてもらい、合格をもらう。 ・ 動詞[like / have / play / want / eat]を使ったヒント文を、4 線ワークシートに書き写す。(清書) ・ めあてや班活動「Who am I?クイズ作り」について振り返り、記入する。 	<p>◎ある人物について例を参考に説明している。</p> <p>◎単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して、紹介文を書いている。</p> <p>4 線ワークシート 振り返りカード</p>
第6時	<p>1. Who am I? クイズをしよう</p> <p>2. STORY TIME (p.25)</p> <p>3.振り返りカード</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid orange; padding: 5px;">Who am I? クイズで、もっと友達のことを知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 班で作ったクイズのリハーサルを行う。(役割分担の確認) ・ 班ごとに前に出て、Who am I?クイズをする。 ・ 出題者が問題を出し、正解を言う。その後、答えの人は、さらに質問を受け、答える。その他の人は、答えの人の紹介をする。(He is cool.など 1 文のみ) ・ 他の班は、答えをホワイトボードに書き、一斉に見せる。 ・ デジタル教材 STORY TIME(p.25)でライム(押韻)の単語とそれらが含まれる文を 2~3 回聞く。 ・ ライム(押韻)している単語を読んだり、音声の後に続けて言ったりする。 ・ めあてや「Who am I?クイズ」について振り返り、記入する。 	<p>◎他者に配慮しながら、ある人物になりきって、その特徴やできることなどを話し、その人物について伝え合っている。</p> <p>We Can!2 デジタル教材 STORY TIME(p.25) [run / fun / sun] 振り返りカード</p>

7.本時案 (1/6 時)

(1)題材 “ He is famous. She is great.” 「人物紹介」 (6年 We Can! 2 Unit 3)

(2)ねらい 動作を表す語を知り、好きなもの、欲しいもの、日頃することの表現について、「主語+動詞+目的語」の語順に気付く。

(3)展開

Procedure (time)	Activities/Support/Notes			
	Students	JTE	HRT	評価/準備物
1.Greetings (2)	・挨拶をする。	・ HRT と児童に挨拶をする。 ・ “How are you?”(the weather, the day, etc.)本時の流れの確認	・ 挨拶をする。 I'm ~.と答える。	・ 気分カード ※動詞「want」を使い、好きなみそ汁の具を伝えている。
2.Small Talk (8)	・話を聞いて内容をつかみ、ペアで「好きなみそ汁の具」を伝え合う。【繰り返し】	・ Small Talk を行い、ペアで「好きなみそ汁の具」について伝え合わせる。【繰り返し】	・ ペアのやり取りをビデオに撮る。	※【繰り返し】を入れた、1.5往復の対話をしている。
3.Let's Listen1 (8)	・ Who am I? クイズ (3問) を聞き、答える。	・ Let's Listen1(p.24) で、あるキャラクターについての Who am I? クイズ (3問) を行う。		
4.Let's Play3 (10) Pointing game	・ポインティングゲームをする。	・ Let's play3(pp.20-21)で、動作を表す語 6種類を使い、ポインティングゲームをする。(like / want / have / eat / play / study)	・ ペアのやり取りをビデオに撮る。	・ We Can!2 ・ デジタル教材
日本語と英語を比べてみよう				
5. Let's Watch and Think 2 (12)	・デジタル教材の音声を聞いて、カードを点線囲みに置き、確かめる。 ・ペアでカードを自由に置き、意味が通る文をたくさん作る。 ・どのような文ができたかを発表する。	・ Let's Watch and Think2(p.22) で、音声を聞かせて、カードを点線囲みに置かせ、答え合わせをする。 ・点線囲みにカードを自由に置かせ、意味が通る文をできるだけたくさん作らせる。 ・作った文を発表させる。	・ ペアのやり取りをビデオに撮る。	児童用カード (評) ◎動作を表す語を読んで分かっている。 ◎表現について、「主語+動詞+目的語」の語順に気付いている。
6.Reflection time & Greetings(5)	・めあてや「やり取り」について振り返り、記入する。 Thank you very much. See you	・振り返りカードの記入の仕方を再確認し、書かせる。 Thank you very much. See you.		(行動観察・振り返りカード) ・ 振り返りカード (※)

〈 第 1 時の板書計画 〉

☀

Thursday

日本語と英語を比べてみよう

What do you want in the miso soup?

I want ～.

1.対話始め

2.くり返し

6.対話終わり

I eat fish

I like fish

I want fish

I study math

英語 「主語＋述語＋もの」

1 あいさつ
2 Small Talk
3 Let's Play 2
4 Watch & Think 2
5 振り返り

8.本時における Small Talk について

(1)本時の Small Talk の設定理由

単元のゴールである「Who am I?」クイズでは、様々な既習の動詞が使われる。第 1 時では、使用頻度の高い「want」を復習するため、子どもたちにとって身近な話題であり、好みも様々である「みそ汁の具」と合わせて、「What do you want in the miso soup? (みそ汁の具は何がいい?)」という Small Talk を行う。この表現では、動詞が「want」に限定される。動詞が「want」に限定されることで、子どもたちは答えを考えることに集中できると思われる。また、「対話を続けるための基本的な表現」である「繰り返し」を行わせることで、「1.5 往復の対話」を目指す。

(2)本時の Small Talk で目指す姿

- 動詞「want」を使い、好きなみそ汁の具を伝えている。
- 「繰り返し」を入れた、1.5 往復の対話をしている。
- We Can! 2 の既習ページや掲示物等から既習表現を思い出そうとしている。

第 6 学年外国語活動指導案③⑤ (We Can! 2) 10 月 17 日 (木)

(1)題材 Unit 3 He is famous. She is great. 「人物紹介」 2/6 時

(2)ねらい 好きなものやこと、欲しいもの、日頃することの表現について、語順に気付き、単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して、文を書き写す。

(3)展開

分	児童の活動	指導者の活動と使用英語例	◎評価・準備物 ※検証の視点
2	1.Greetings	○挨拶をして、児童に気分を尋ねる。 ○本時の流れを確認する。	・ MENU
10	2.Small Talk ○指導者の話の内容をつかみ、ペアで「好きな日本食」を伝え合う。	○好きな日本食についての Small Talk を行う。 ・好きな日本食について話し、ペアで取り組ませる。 【繰り返し・質問】の説明をして、2 往復の対話を行わせる。 S1:What Japanese food do you like? S2:I like Sushi. S1:Sushi. Why? S2:I like salmon. (It's delicious.)	・裏技カード 1.2.5.6 ※動詞 [like] を使い、好きな日本食とその理由を言う
8	3.Let's play2(pp.20-21) ○キーワードゲームをする。 ○ドンじゃんけん (陣取りゲーム) をする。	○好きなものやこと、教科などを復習し、キーワードゲームに取り組ませる。 ○ドンじゃんけんの説明をしてペアで取り組ませる。「I like dogs.」など文で言わせる。 自分が伝えたい英語の文を作ってみよう	・ We Can!2 ・デジタル教材 ・拡大コピー ・鍵の絵 ・絵カード
8	4.Let's Watch and Think3 (p.23) ○デジタル教材の音声を聞いて絵カードを並べる。	○デジタル教材の音声を聞かせて、語順を確認する。 ・4 線白板を黒板に貼り、語順を意識しやすくする。 ・点線囲みに絵を置き、聞き取った文を再現させる。 ・音声通りカードが並べられたかペアで確認させる	・デジタル教材 ・4 線白板 ◎絵カードを並べて文を作っている。
10	5.Activity ○「主語＋述語＋物」の語順でカードを並べる。 ○1 文だけ 4 線に書き写す。	○カードを並べて文を作らせ、ペアで発表させる。 ・「eat」「like」「want」「study」の動詞を使わせる。 ○作成した文のうち、1 文だけ 4 線ワークシートに書き写させる。	・ワークシート ◎単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して、文を書き写している。
3	6.Sounds and Letters[j] ○サウンドテニスをする。	○[j]で始まる単語を 1 つずつ交代で発表させながら、ペアでサウンドテニスに取り組ませる。(2 回)	・[j]のつくヒントカード
4	7.Reflection time ○振り返りを書く。	○振り返りカードに記入させ、発表させる。 ・本時のめあてや「やり取り」を振り返らせる。	・振り返りカード (※)

10/17 

Thursday

自分が伝えたい英語の文を作ってみよう

What Japanese food do you like?

I like ~.

You like ~.

I like ~.

Why?

1 対話始め

2 くり返し

5 さらに質問

6 対話終わり

I play the violin.

㊦主語 述語 もの

㊧主語 もの 述語

1 あいさつ
2 Small Talk
3 Let's Play2
4 Watch & Think3
5 文作り
6 サウンドテニス[j]
7 ふり返り

第2時における Small Talk について

(1) 本時の Small Talk の設定理由

第2時では、単元のゴールである「Who am I?」クイズで使える動詞「like」を復習する。そして、子どもたちにとって身近な話題であり、料理の種類が豊富である「日本食」と合わせて、「What Japanese food do you like? (日本食は何が好き?)」という Small Talk を行う。この表現では、動詞が「like」に限定されるが、動詞が「like」に限定されることで、子どもたちは日本食とその理由を考えることに集中できると思われる。また、「like」は何度か学習しており、少し慣れていると思われるため、「対話を続けるための基本的な表現」の中の「(理由等を尋ねる) 質問」を入れて、「2 往復の対話」を目指す。その際、前時で行った「繰り返し」も入れることとする。

(2) 本時の Small Talk で目指す姿

- 動詞「like」を使い、好きな日本食とその理由を伝えている。
- 「繰り返し・質問」を入れた、2 往復の対話をしている。
- We Can! 2 の既習ページや掲示物等から既習表現を思い出そうとしている。

第 6 学年外国語活動指導案③⑥ (We Can! 2) 10 月 18 日 (金)

(1) 題材 Unit 3 He is famous. She is great. 「人物紹介」 3/6 時

(2) ねらい ある人物の説明を聞いて具体的な情報を捉えるとともに、単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して、文を書き写す。

(3) 展開

分	児童の活動	指導者の活動と使用英語例	◎評価・準備物 ※検証の視点
2	1.Greetings	○挨拶をして、児童に気分を尋ねる。 ○本時の流れを確認する。	・ MENU
10	2.Small Talk ○指導者の話の内容をつかみ、ペアで「好きなキャラクター」を伝え合う。	○好きなキャラクターについての Small Talk を行う。 ・好きなキャラクターについて話し、ペアで取り組ませる。【繰り返し・質問】を入れた、2 往復の対話を行わせる。 S1:What character do you like? S2:I like Snoopy. S1:Snoopy. Why? S2:It's cute.	・裏技カード 1.2.5.6 ※動詞 [like] を使い、好きなキャラクターとその理由を言う
8	3.Let's Listen2 (p.24) ○キャラクター紹介を聞いて、答えを書く。	○2 人のキャラクター紹介を 1 問聞かせ、表に答えを書かせる。 ・答え合わせで、どのような紹介文があったか、聞き取ったことを発表させる。	・ We Can!2 ・デジタル教材 ◎ある人物についての説明を聞いて理解し、聞き取ったことを書いている。
		カードを使って、デスティニーゲームをしよう	
20	4.Destiny Game ○デスティニーゲームをする。 ○1 文だけ 4 線に書き写す。	○デスティニーゲームの説明をする。 ・4 人グループになり、動詞カードを真ん中に伏せて重ね、名詞カードを 1 人 4 枚持つ。 ・1 人ずつ動詞カードをめくり、その動詞に合うカードを出して I を主語にして文を言う。合うカードがない時は、文を言うだけ。4 枚のカードが早くなくなったら勝ち。 ・作成した文のうち、1 文だけ 4 線に書き写す。	・絵カード ◎単語と単語にスペースを置き、語順を意識して、文を書き写している。 ・ワークシート
5	5. Reflection time ○振り返りを書く。	○振り返りカードに記入させ、発表させる。 ・本時のめあてや「やり取り」を振り返らせる。	・振り返りカード (※)

〈 第3時の板書計画 〉

10/18 ☀
Friday

カードを使って、デスティニーゲームをしよう

What character do you like?

I like ~.

You like ~.

I like ~.

Why?

1 対話始め

2 くり返し

5 さらに質問

6 対話終わり

I

eat



I

want



- 1 あいさつ
- 2 Small Talk
- 3 Let's Listen 2
- 4 デスティニーゲーム
- 5 振り返り

第3時における Small Talk について

(1) 本時の Small Talk の設定理由

第3時では、単元のゴールである「Who am I?」クイズで使える好きな理由（形容詞）の復習をする。そして、子どもたちにとって身近な話題であり、テレビやゲーム、商品など種類が豊富である「キャラクター」と合わせて、「What character do you like? (何のキャラクターが好き?)」という Small Talk を行う。この表現では、動詞が「like」に限定されるが、動詞が「like」に限定されることで、子どもたちはキャラクターとその理由を考えることに集中できると思われる。また、「like」は何度か学習しており、少し慣れているため、「対話を続けるための基本的な表現」の中の「(理由等を尋ねる) 質問」を今回も入れて、「2 往復の対話」を目指す。その際、前時で行った「繰り返し」も入れることとする。

(2) 本時の Small Talk で目指す姿

- 動詞「like」を使い、好きなキャラクターとその理由を伝えている。
- 「繰り返し・質問」を入れた、2 往復の対話をしている。
- We Can! 2 の既習ページや掲示物等から既習表現を思い出そうとしている。

第6学年外国語活動指導案③⑦ (We Can! 2) 10月23日(水)

(1) 題材 Unit 3 He is famous. She is great. 「人物紹介」 4/6時

(2)ねらい ある人物の説明を聞いて具体的な情報を捉えるとともに、ある人物になりきってその人物を説明したり内容を捉えたりする。

(3)展開

分	児童の活動	指導者の活動と使用英語例	◎評価・準備物 ※検証の視点
2	1.Greetings	○全体に挨拶をして、児童に気分を尋ねる。 ○本時のめあてと流れを児童と確認する。	・MENU
6	2.Review ○[j]から始まる単語を復習する。 ○サウンドテニスをする。	Who am I?クイズで、もっと友達のことを知ろう ○絵カードを見せ、[j]から始まる単語の復習を行い、ジェスチャーをつけて練習させる。 ○ペアで、[j]から始まる単語のサウンドテニスに取り組ませる。(2回)。	・絵カード ・ワークシート Unit3-3
5	3.Who am I?クイズ ○ヒント文を聞き、それが誰か答えを考える。	○Who am I?クイズを行い、誰のことか答えを考えさせる。 ・答え合わせで、どのような文が聞き取れたかを発表させる。	※興味をもち Who am I?クイズを聞き、答えを考えている。 ◎ある人物についての説明を聞いて理解し、聞き取っている。
	I like sports. I am famous and popular in Japan. I have a uniform. My uniform's colors are red and white. My uniform's emblem is cherry blossoms. (桜のエンブレムの画像) I like rugby. I can tackle very well. I am the captain of my team. Who am I? (リーチ・マイケルの画像)		
27	4.Activity (p.24) ○班の中の1人についてWho am I?クイズを作る。 ○ワークシート Unit 3-3にメモする。	○Who am I?クイズ作りに取り組ませる。 ・班の中から1人選び、その人に好きなものや欲しいもの等インタビューさせる。 ・インタビューしたことを基に、その人についてのWho am I?クイズ作りを班で取り組ませる。(これまでに聞いたり言ったりしてきた文を参考にする)。 ・絵カードを並べ替えて、文を考えてもよい。 ・作ったヒント文をワークシートにメモさせる。	※班活動で、英語でインタビューしたり、文作りしたりしている。 ◎ある人物について説明したり、説明を聞いて理解したりする。
5	7.Reflection time ○振り返りを書く。	○振り返りカードに記入させ、発表させる。 ・本時のめあてや班活動を振り返らせる。	・振り返りカード (※)

〈 第 4 時の板書計画 〉

The board plan is enclosed in a large rectangular frame. On the left side, the date '10/23' is written next to a sun icon, with 'Wednesday' below it. At the top center, a box contains the text 'Who am I?クイズで、もっと友達のことを知ろう'. Below this, six boxes are arranged vertically, each containing a sentence fragment: 'I like .', 'I want .', 'I have .', 'I eat .', 'I study .', and 'I play .'. To the right of these boxes is a speech bubble containing a numbered list: '1.1 人決める', '2.インタビュー', '3.クイズ作り', and '4.メモする'. Further to the right is a box titled 'MENU' containing a list: '1 あいさつ', '2 サウンドテニス', '3 Who am I?クイズ', '4 クイズ作り', and '5 ふり返り'.

第 4 時におけるコミュニケーション活動について

(1) 本時のコミュニケーション活動の設定理由

第 4 時は、Small Talk が設定されていないため、「Who am I?」クイズを聞き、考えて答える（反応する）Teacher's Talk を設定している。また、この「Who am I?」クイズが、班活動「Who am I?」クイズ作りへの意欲付けとなり、モデル文としても参考になるように、形容詞や色など様々な既習表現を織り交ぜる。そこで、子どもたちが最近よくテレビで見ているであろうラグビー選手「リーチ・マイケル」の「Who am I?」クイズを行う。

(2) 本時のコミュニケーション活動で目指す姿

- 興味をもって Who am I?クイズを聞き、答えを考えている。
- 班活動で、英語でインタビューしたり、文作りしたりしている。
- We Can! 2 の既習ページや掲示物等から既習表現を思い出そうとしている。

第6学年外国語活動指導案③⑧ (We Can! 2) 10月31日(木)

(1) 題材 Unit 3 He is famous. She is great. 「人物紹介」5/6時

(2)ねらい ある人物について伝え合い、単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して、例を参考に紹介文を書く。

(3)展開

分	児童の活動	JTEの活動と使用英語例	ALT Denisa	◎評価・準備物 ※検証の視点
2	1.Greetings	○全体に挨拶をして、児童に気分を尋ね、本時のめあてと流れを確認する。	○ Please greet the class.	・ MENU
		Who am I?クイズを完成させよう		
8	2.Review ○デスティニーゲームをする。 ・動詞カードを班の真ん中に伏せて重ね、名詞カードを4枚ずつ持つ。	○デスティニーゲームのデモンストレーションをする。 ・動詞カードをめくり、そのカードに合う名詞カードを並べて文を作らせる。 ・早くなくなった人が勝ち。	○Please do the demonstration of “Destiny game” with JTE.	・ 絵カード
5	3.Who am I?クイズ ○デニサからヒント文を聞き、それが誰か答えを考える。	○Who am I?クイズで誰のことか答えを考えさせる。 ・どのような文が聞き取れたかを発表させる。	○Please do a “Who am I?” Quiz to students.	※興味をもち Who am I?クイズを聞き、答えを考えている。
25	4.Activity (p.24) ○班の中の1人について Who am I?クイズを作る。 ○ワークシートにメモする。	○前時の続きで Who am I?クイズ作りに取り組みさせる。 ・班の中の1人になりきって作らせる。紹介文も加える。 ・絵カードを並べ替えて、文を考えてもよい。 ・できたら、役割分担をして練習させる。 ・デニサに聞かせて、合格をもらわせる。 ・個別支援をする。 ・自分が言う文をワークシートに書き写させる。	○Make sure that when making their hints, students are careful to give enough information so that their classmates can correctly guess the answer. ◎Students should pay attention to word order and spacing.	※班活動で、英語でインタビューしたり、文作りしたりしている。 ◎ある人物について伝え合っている。 ◎単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して、例を参考に紹介文を書いている。
5	7.Reflection time ○振り返りを書く。	○振り返りカードに記入させ、発表させる。 ・本時のめあてや班活動を振り返らせる。	○ Please praise the class and give some comments.	・振り返りカード (※)

〈 第 5 時の板書計画 〉

10/31 Thursday	☀	Who am I?クイズを完成させよう
I	want	 cake
クイズ の 絵	クイズ の 絵	クイズ の 絵
p.22 拡大コピー I eat ____. I like ____. I want ____. I study ____.		
p.23 拡大コピー I play the violin. My violin is old. I want a new violin. I eat fish. I like fish. I want fresh fish.		
MENU 1 あいさつ 2 デスティニーゲーム 3 Who am I?クイズ 4 クイズ作り 5 ふり返り		

第 5 時における Small Talk について

(1)本時の Small Talk の設定理由

第 5 時は、ALT による「Who am I?」クイズを Small Talk として設定している。ALT からも「Who am I?」クイズが聞けることで、班活動の「Who am I?」クイズ完成への意欲付けとなり、モデル文としても参考になるように、形容詞など様々な既習表現を織り交ぜて行う。

(2)本時の Small Talk で目指す姿

- 興味をもって Who am I?クイズを聞き、答えを考えている。
- 班活動で、英語でインタビューしたり、文作りしたりしている。
- We Can! 2 の既習ページや掲示物等から既習表現を思い出そうとしている。

第6学年外国語活動指導案③⑨ (We Can! 2) 11月8日(金)

(1) 題材 Unit 3 He is famous. She is great. 「人物紹介」6/6時

(2)ねらい 他者に配慮しながら、ある人物になりきって、第3者について伝え合おうとする。

(3)展開

分	児童の活動	指導者の活動と使用英語例	◎評価・準備物 ※検証の視点
2	1. Greetings	○全体に挨拶をして、児童に気分を尋ねる。 ○本時のめあてと流れを児童と確認する。	・ MENU
28	<p style="text-align: center; border: 1px solid orange; padding: 5px;">Who am I?クイズで、もっと友達のことを知ろう</p> <p>2. Who am I?クイズ大会を行う</p> <p>○班の中の友達についてのクイズを出題する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出題者・答える人・紹介者の役割分担で行う。 <p>○ヒント文を聞き、それが誰か班で答えを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答えの人が決まったら、ホワイトボードに答えを書き、書いた人(順番)がホワイトボードを持ち、教室の周りに立つ。 	<p>○班で作ったクイズのリハーサルを行う。(役割分担の確認)</p> <p>○Who am I?クイズ大会を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに前に出て、Who am I?クイズをさせる。 ・出題者が問題を出し、正解を言う。その後、答える人は、さらに質問を受け、答える。その他の人は、答えの人の紹介をする。 (He is cool.など1文のみ) ・他の班は、答えをホワイトボードに書き、一斉に見せる。 	<p>・ワークシート</p> <p>※興味をもち</p> <p>Who am I?クイズを聞き、答えを考えている。</p> <p>◎他者に配慮しながら、ある人物になりきって、その特徴やできることなどを話し、その人物について伝え合っている。</p>
10	<p>3. STORY TIME (p.25)</p> <p>○デジタル教材でライム(押韻)の単語とそれらが含まれる文を2~3回聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライム(押韻)している単語を読む。 ・音声の後に続いて言う。 	<p>○本単元で学習した表現が含まれている文を読むようにし、ライム(押韻)を通して子音の復習と母音への気づきを高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここで取り扱うライム(押韻)は/ʌn/。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>I like to watch rugby. It's fun.</p> <p>I like Kenji. He can run fast. He can jump high.</p> <p>He can play in the sun and the rain.</p> <p>Run, jump and have fun in the sun.</p> </div>	<p>説明を聞いて理解したりする。</p>
5	<p>4. Reflection time</p> <p>○振り返りを書く。</p>	<p>○振り返りカードに記入させ、発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてやWho am I?クイズについて、振り返らせる。 	<p>・振り返りカード(※)</p>

11 / 8



Friday

Who am I?クイズで、もっと友達のことを知ろう

Who am I?クイズ

- ①出題者が問題を出す。
- ②他の班は、協力して答えを考え、答えをホワイトボードに書く。(書く人は、順番。)
- ③答えを書いた人が、ボードを持ち、見せる場所に行く。
- ④一斉に答えを見せ、**答え合わせをする。**
- ⑤答えの人に、「さらに質問」をする。
- ⑥答えの人は「さらに質問」を受け、答える。
- ⑦その他の人は、答えの人の紹介をする。
(He is cool.など1文のみ)

MENU

- 1 あいさつ
- 2 Who am I?クイズ
- 3 STORY TIME
- 4 ふり返り

※青字は、出題する班が行うこと。

黒字は、答える班が行うこと。

赤字は、すべての班が行うこと。

第 6 時における Small Talk について

(1) 本時のコミュニケーション活動の設定理由

第 6 時は、Small Talk が設定されていないため、班で「Who am I?」クイズを出題したり、他の班の「Who am I?」クイズを聞いたり、考えて答えたり（反応したり）するコミュニケーション活動を設定している。班で協力して、今まで習った既習表現を想起しながら答えを考え、「Who am I?」クイズに参加する。

(2) 本時のコミュニケーション活動で目指す姿

- 班で協力して「Who am I?」クイズを出題している。
- 興味をもって「Who am I?」クイズを聞き、答えを考えている。
- 「Who am I?」クイズを出題されたとき、今まで習った既習表現を思い出し、理解しようとしている。